

情報学委員会

サイバー・フィジカル環境における生存情報学検討分科会

(第26期・第6回)

議事要旨

1. 日 時 令和7年3月19日(水) 20:00～21:00

2. 会 場 オンライン会議(ZOOM)

3. 参加者：内田 誠一、永井 由佳里、荒川 薫、大倉 典子、加藤 由花、木村 朝子、庄司 裕子、椿 美智子、長田 典子、中野 有紀子、灘本 明代、西野 恒、橋本隆子、長谷山 美紀、平田 貞代、宮崎 久美子、八木 康史、土井 美和子(18名)
欠席：大場 みち子、相澤 清晴、井上 美智子、大柴 小枝子、加藤 ジェーン、河邊隆寛、後藤 真孝、佐藤 洋一、中小路 久美代、山下 直美、横尾 真(11名)

4. 議 題

- (1) 分科会委員長挨拶
- (2) 分科会内アンケート結果の報告について
- (3) 生存情報学に関するグループワーク
- (4) その他

5. 議 事

- (1) 分科会委員長挨拶

橋本委員長より生存情報学に関するグループ議論について説明した。

- (2) 分科会内アンケート結果の報告について

グループワークに向けたアンケートの結果を報告した

- (3) 生存情報学に関するグループワーク

グループに分かれ、以下の4つのテーマについて、生存情報学に期待すること、どのようなサービスが可能か、どのような研究テーマがあり得るか議論し、4テーマの議論結果を発表した。

- ①AIの倫理×生存情報学
- ②高齢者ケアと支援×生存情報学
- ③ウェルビーイングの向上 × 生存情報学

④サイバー・フィジカル空間での共存 x 生存情報学

(4) その他

公開シンポジウム「デジタルデータ及び社会調査・統計調査の活用：方法と課題」への
主催について議論し，承認された

6. 配布資料

なし